



概況

水芭蕉群落に水がない 今年水芭蕉保全地にほとんど水がありませんでした。昨年JRで水芭蕉群落に隣接する線路際の側溝を線路保全のため浚渫したため、春の雪解け水が保全地に流れ込まなくなりました。乾燥化は水芭蕉の敵です。春の整備で流れの途中に枯れ木を積んでセキを作ったのですが水位の落差が大きいため水の導入はできませんでした。網走市の観光課にも来てもらい、土木の専門家と相談して今後の対策を検討しているところです。今後の対策としては上流部に何らかの形で雪解け水の一部が、保全地に流れ込むような工事が必要です。

春の作業 側溝に溜まった杭や枯れ枝をトビで拾い上げました。林内の枯れ枝拾い、周辺のゴミ拾い。側溝のセキ作り。今年もNGKから大勢の参加がありました。ありがたうございました。お茶には、及川百合子さん特製のジャガイモフライ。おいしかったです。ご馳走さま。

側溝の壁と蛙 側溝の浚渫で壁はまばら、秋の蛙に遡上は見られませんでした。

知床のヒグマ女流別のアオサキ 総会で佐藤正博さんの映した美しい映像が紹介されました。

保全地にカップパ? 誰がいい出したのか、水芭蕉保全地にカップパが出るという噂です。誰かがカップパの好物のキヌウリを柳の木にぶら下げているとか。(清水敦記)

線路、水芭蕉の向が側溝

水芭蕉群落に水がない

今年も群生地を清掃

2015年5月発行
水芭蕉通信11号
 網走湖・水と緑の会
 網走市呼人187-1森の家内 Tel 0152-48-2223
 Fax 0152-48-2223

地域の企業も参加



前日の夜から雨が降り出し、当日は作業ができるか心配されたが、朝までには小雨になり、予定通り作業を進めた。しかし、気温は4月下旬と思えないほど低く、集まった会員らはみな真冬のようないでたち。寒空の下、空き缶やペットボトルなどの目に付いたごみ、水の流れを妨げる木の枝などを取り除いた。今年も積雪量が多かつたため、同群生地も雪解けが遅れるのではと心配されたが、今月中旬には雪もなくなり、昨年より早めにミスバシヨウが咲き始めたほど。

今年も水と緑の会や地域の企業などが、ミスバシヨウ群落地を手入れした。

ミスバシヨウが見ごろ

網走湖呼人湖畔 観光客ら楽しむ



見ごろを迎えたミスバシヨウ
 しばし観賞する観光客も多い。ミスバシヨウにカメラを向ける観光客や散策を楽しむ市民らでにぎわい始めている。

釧路から行楽に訪れていた女性(56)は「周辺一帯に咲き誇るミスバシヨウを楽しめてよかった」と喜んでいました。市内には呼人をほじめ、湧沸湖の浦士別湖畔など知られた群生地が多い。

市内で咲き始めた桜とともに、ミスバシヨウも観光客や市民を楽しませてくれそうだ。(小野)

北海道新聞

2015.4/23
 市呼人の湿地帯で春の訪れを告げるミスバシヨウの花が見ごろを迎え、春の観光客や市民を楽しませている。湿地帯は葉が変形し

た独特の白い仏炎苞(ぶつえんほう)を開いたミスバシヨウが広がり、白と緑のコントラストが鮮やかに広がっている。大型連休の前半に入ってから、国道39号沿いからミスバシヨウを見つけて車を停め、

春 点描

2015.4/23
 北海道新聞

群生地が見ごろを迎えた。葉が変形した白く、若々しい仏炎苞が湿地から伸び出て、春の陽光を気持ちよさそうに浴びている。写真!!

この一帯はミスバシヨウの群生地としては国内最大級とされる。網走市観光協会によると、見ごろは5月上旬まで続く見込みだ。

純白の愛らしい姿は「白い妖精」とも呼ばれる。唱歌「夏の思い出」に歌われるように、夢見て咲いているのだろうか。(文・写真 伊丹恒)

近くを走るJRの特急列車におしきをし、歓迎しているように見える。

網走市呼人から大空町にまたがる網走湖畔のミスバシヨウの

陽光浴び列車を歓迎

年会費1000円 郵便振替口座
 網走湖・水と緑の会 02730-3-20099
 よろしく お願い致します